

## "統計課移転す書類山とあり"

5月11日、12日の両日にわたり統計課が、6年間住みついた旧庁会のあまり執務環境の香しくなかつた部屋から新築の明るい県警察本部5階北側に移転をした。

6年間も住み馴れると、あれこれといろいろなものが溜まつてしまつて引越を機に大掃除もできようというもの、統計課は課員68人を数える大世帯、それに2万冊の図書、資料と各種統計調査の関係書類が山の如くあり、引越は大変、手製のモッコを活用して若い力で無事この大仕事をやりとげ、やつと5階の明るい部屋に到着した。

## "環境は緑と空と明るさと"

統計の仕事は数字を主とする関係上、いままでの照度100ルクスでは計算事務に不向、それに灰色の周囲も壁ばかりで空も緑も見えなかつた部屋から、新装の5階の部屋はさすがに明るさがすばらしい。事務能率も向上しようというもの、青空が手にとどきそうに眺められるし、久慈の連山、遠く日光連山まで眺めることもできるし新緑のみどりが計算で疲れた眼を慰さめてくれる。

## "連休のプラン若さを"

うらやまれ"

4月29日から5月7日まで8日間のうちに休日が5日間もつづく、サラリーマンにとつては文字通りのゴールデン、ウェークというもの、4月29日は天皇誕生日、翌30日の日曜と連休、3日の憲法記念日から1日おきのとび石となつており、1日休暇をとれば3日間休めることになる。若い人達の間ではもつぱらこの連休を利用しての計画がすすめられているらしい。しかし、生活のかかっている世帯持ちとなるとわが家の経済と関連して簡単には連休を楽しめなくなるようだ。

## "平和だからメーデーもなごやかに"

5月は、メーデーからはじまる。労働者の祭典としてくり開けられる最近のメーデーは、明るく和やかに行なわれ一時のようにニュースのうえに血なまぐさい乱斗事件の報道もなく、家族連れで参加できるような和やかなものとなつた。プラカードにも賃上げや物価上昇反対などの経済的なものが増えて、いかにも平和な国のメーデーといった感じである。

## "平和憲法あれから20歳となり"

5月3日は憲法記念日、昭和22年5月3日に施行された憲法も、本年はいよいよ20才の成人式を迎えたことになる。新生日本が敗戦から立直つて私達の生活と権利を守るためにつくられたこの憲法も、改憲とか平和憲法護とかいろいろと論議されているところである。

## "かしわ餅故郷の味を噛みしめる"

5月5日は子供の日、むかし流に言えばご節句である。最近では端午の節句の感じも社会の動きにつれて、あの懐しい風習もいつか忘れられてしまつたようである。

軒しようぶ、しようぶ湯、がしわ餅、蛙のほり、子供達の兵隊ゴッコなど幼い日の憂愁は甘く限らない。かしわ餅といえは以前は殆んど農家では自家製のものをドーナリと作つて腹いっぱいになるほど喰つたものである。旧暦の5月5日は柏の葉が大きくなつて木登りをしながら籠につんだ日の記憶は遠いものとなつてしまつた。

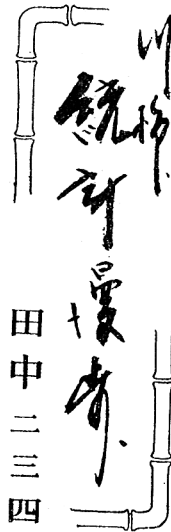
## "巣箱かけ子等に"

可愛い夢があり"

5月10日から愛鳥週間がはじまる。なか愛鳥といえは子供達の仕事のように思われがちで大人どもには全く無縁のものとしてその存在すら知つていない人は少ないようである。小鳥も社会の煩らわしさから逃避してしまつて、だんだんと人間の視界から遠く山奥にかくれてしまつて、そのさえすりさえ聞かれなくなつたこのごろ、小鳥の憩の場の巣箱など子供達の手によつて棲居にとりつけられる風影が目につくのも愛鳥精神のあらわれである。

## "先生も人間だから酔つばらい"

このところ交通事故が多く死傷者の数が毎日累計されていくこのごろ、新聞誌上を賑わした先生の酔つばらい運転による交通事故が世人の注目を集めた。とかく公務員とか教員の犯罪などはニュース価値が大きいため、新聞誌上などで大々的に取り扱われがちであるが、最近とくにこういう人達の事故などが多発の傾向にあるようだ、先生も人間だから酔つばらうことも結構であろうが、時と場所には十分に注意しなければならないだろう。



②

# 近 着 統 計 資 料

図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者	図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者
賃金構造基本統計調査報告	41年	労働省統計調査部	農業センサス茨城県報告書	1965	農 林 省
経 済 要 覧	1967	経 済 企 画 庁	建 築 統 計 年 報	40年	建 設 省
国 際 統 計 要 覧	1966	統 計 局	茨城県法人企業統計報告	40年度	県 開 発 部
漁業経済調査報告	40年度	農 林 省	健 康 と 福 祉	40年	厚 生 省
わが国人口再生産力の動向	—	人口問題研究所	地 域 農 業 の 動 向	1966	農 林 省
わ が 国 の 人 口	40年	統 計 局	百 貨 店 販 売 統 計 年 報	40年	通 産 省
法 人 企 業 統 計 年 報	40年	大 蔵 省	そ 菜 生 産 状 況	42年度	茨 城 県
茨城県史料(近代統計編)	40年	茨 城 県	都 道 府 県 人 口 の 推 計	41年	統 計 局
国 民 所 得 統 計 年 報	40年	経 済 企 画 庁	茨 城 県 の 移 動 人 口	42年	茨 城 県
日 本 統 計 月 報 資 料 解 説 編	—	行 政 管 理 庁	県 勢 主 要 指 標 の 推 移	42年	〃
日 本 経 済 の 地 域 関 連 分 析	—	通 産 省	教 育 統 計 報 告 書	42年	〃

## 第18回茨城県統計グラフコンクール作品募集!!

◆主 催

茨城県、茨城県教育委員会、茨城県統計協会

◆目 的

県民に対する統計思想の普及向上と統計の表現技術研さんおよび統計教育の推進に資するものとする。

◆応募資格

- 第1部 小学校の児童(1年～3年)
- 第2部 〃 (4年～6年)
- 第3部 中学校の生徒
- 第4部 高等学校以上の学生・生徒
- 第5部 一 般

◆課 題

グラフの課題は、各部とも自由とする。ただし、第1部、第2部および第3部については、次の条件を付するものとする。

- (1) 第1部、第2部(小学校の児童)の作品は、児童が観察した結果をグラフ化したものであること。
- (2) 第3部(中学校の生徒)の作品は、既存統計の利用または生徒が観察した結果をグラフ化したものであること。

◆材料の規格

- (1) 第1部、第2部、第3部の用紙規格は、728cm×51.5cm(B2判仕上寸法)とする。
- (2) 第4部、第5部の用紙規格は、103cm×728cm(B1判仕上寸法)とする。

(3) 各部とも紙質、各彩(単色にて可)その他の材料については自由とする。

◆送 付 先

茨城県開発部統計課(水戸市三の丸1丁目5番38号)

◆締 切 日

昭和42年9月9日まで(必着のこと。)

◆応募上の注意

(1) 応募作品の裏面には、住所、氏名、性別、年令および職業(児童生徒または学生の場合は、所属学校名、学年)を明記すること。

なお住所、氏名、学校名には必ず「ふりがな」をつけること。

(2) 各部とも必ず統計表を添付すること。ただし、自己の観察によらず他から資料を取った場合は、その取材資料の出所も明記すること。

◆入選発表

入選者の発表は、42年9月下旬に本人または所属学校長あて通知する。

◆そ の 他

不明な点については、県統計課(電話水戸☎5505)に照会のこと。